

(別添) 日本学校ソーシャルワーク学会 機関誌『学校ソーシャルワーク研究』執筆要項
[引用法]

1. 注および文献の表示について

下記例文のように、著者名・発行年・引用頁を本文に挿入する。ただし、引用文献が論文などで出所がわかりやすい場合はとくに引用頁を記載しなくてもよいが、単行本などの場合は出所がわかりやすいように、引用頁を明示する。そして、文末に、注の欄と文献の欄を別に設ける（なお、右肩添え字は注の例示であって引用文献の指示ではない）。

[例] 鈴木（2001：25）は、Xについて「 」と述べている¹⁾。

あるいは、鈴木は、Xについて「 」と述べている（鈴木 2001：25）¹⁾。

とする。

(注)

1) ただし、鈴木は、Yについてはこれほど明確に述べているわけではない。

(文献)

鈴木一郎（2001）「論文名」『学校ソーシャルワーク研究』21(2), 23-42.

2. 句読点の使用について

点はコンマ [,] 丸はピリオド [.] にて表記する。

3. 引用

基本的に、論文中の引用方式を統一することが重要である。

(1) 短い引用

文献から短い文章を引用するときは、本文中に「 」でくくる形で引用を行う。その際引用文中に「 」が使用されている場合はその箇所を『 』にかえる。

(2) 長い引用（以下、□は空欄を表す）

本文・・・

1行空ける

□□□・・・

□□・・・

□□・・・（鈴木 2001：25）

1行空ける

□本文・・・

・・・

(3) 翻訳のある外国語からの引用

原典から直接に引用する場合は、Thane (1996：23-4) あるいは (Thane1996：23-4) のように記載するが、翻訳書から引用する場合は、Thane(=2000：34-5) あるいは (Thane=2000：34-5) のように記載する。

4. 参照の表示の仕方

[例] Xについての先行研究を概観すると次のような特徴がみられる (中山 1997 ; 中川 1998 ; 秋田 2001).

5. 文献の記載方法

(1) 邦文の文献

①単著の場合

著者名 (出版年) 『書名 (タイトル-サブタイトル)』 出版社名.

②共著の場合

文献上の著者順 (出版年) 『書名 (タイトル-サブタイトル)』 出版社名.

③編書の場合

編者名 (出版年) 『書名 (タイトル-サブタイトル)』 出版社名.

④編書論文の場合

論文著者名 (出版年) 「論文名」 編者名 『書名』 出版社名, 論文初頁-終頁.

⑤雑誌論文の場合

論文著者名 (出版年) 「論文名」 『掲載雑誌 (もしくは紀要) 名』 巻 (号), 論文初頁-終頁.

⑥翻訳書の場合

原典の書籍情報 (=翻訳の出版年, 訳者名 『訳書タイトル』 出版社名.)

(2) 欧文の文献

日本社会福祉学会・機関誌『社会福祉学』の執筆要項に準じる.

6. 文末における注リストの記載方式: 片カッコ No.を列挙する.

(注)

1) □本文

□□

2)

3)

.

結局. 論文の印字体裁は下記のとおりになる.

タイトル 著者名 要旨: Key Words : 本文 (注) (文献) (英文抄録)

*その他, 文献記載方法の詳細については, 日本社会福祉学会・機関誌『社会福祉学』の執筆要項 [引用法] に準じることとするので参照願いたい.